

2026年度 第2回 藤沢市立鵠洋小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2026年 7月 10日（金）10時～12時
場 所 鵠洋小学校 会議室

出席委員	河村 満 会長／鵠沼ふれあいトライアングル 代表 瀧谷 典子 副会長／鵠洋小学校 校長 徳永 理加 鵠沼南地区民生委員児童委員協議会 主任児童委員 寺田 言子 鵠沼地区青少年育成協議会 吉田 正彦 学識経験者（元鵠洋小学校校長） 浪川 征子 どろんこ児童クラブ代表 坂田 千鶴代 おはようボランティア 木村 徹 鵠沼市民センター センター長 北野 範之 コミュニティソーシャルワーカー（鵠沼地区） 植松 梢 鵠洋小学校 教頭 駒場 亜以 鵠洋小学校 児童支援担当教諭 後藤 洋平 鵠洋小学校学校運営協議会 コーディネーター 奥濱 佳那 鵠洋小学校学校運営協議会 コーディネーター 出席委員：13名 欠席委員：2名（野村田鶴子、高橋慶） 事務局：瀧谷典子（鵠洋小学校校長） 傍聴人数：0名
次第	1 開会 2 校長あいさつ 3 報告 協議 （1）学校ボランティアについて （2）防災教育について （3）コミュニティスクールの今後について 4 その他 5 閉会
協議内容	3 報告 協議 学校の近況報告 【夏季活動・行事・校外学習】 - プール活動：梅雨の影響で実施日数は少なかったものの、児童は楽しく参加。プールに入れない児童は室内自習や見学で対応。 - フェスティバル集会（7/3）：各クラスが工夫を凝らした店舗を準備。児童が協力して意見調整・課題解決を行う貴重な機会となった。 4年生 遠足：天候不良で2回延期となったため3学期に再設定。代替として近隣公園での活動と校庭でのお弁当タイムを実施。 6年生 東京見学（7/1）：国会見学および江戸東京博物館への訪問を計画。バス代値上げの関係で、7クラス7台のバスではなく、7クラス6台のバスで行く。

- 体育館の昼休み開放: 6 月より 3 クラスずつで実施 (担任が同伴)。

【PTA80 周年記念プロジェクト】

プロジェクト委員会発足: 初回会議にて、学校キャンプ、子どもたちの得意なこと発表、講演、キッチンカー、ドローンショー、プロジェクションマッピングなどのアイデアが出された。

(1) 学校ボランティアについて

① 学校ボランティアと安全管理

体育館見守り等の役割明確化

- 喧嘩・怪我・微細なトラブル発生時は近くの教員へ連絡する体制とし、「見守りの目 (人数)」を増やすことを最優先とする。
- ボランティアの責任: トラブル時の責任は発生しない旨を明記 (「鵜洋小学校 学校ボランティア」資料作成)・伝達し、安心して手伝ってもらえるよう役割を明確化する。

② 遠足・校外学習の帯同費用とボランティア募集

費用負担の範囲:

- 交通費: 駅や目的地までの送り・帯同に伴う交通費は原則支給・考慮する。
- 入場料: 介助員分の入場料は対応可能だが、一般的なボランティア分の入場料支給は困難な場合がある。明確な基準づくりが必要ではないか。

ボランティア募集とニーズの明確化

- 「具体的に何をすればいいか」「事故・怪我があったら」という不安がボランティアの離脱につながるため、ニーズや作業内容を明確にして募集すべき。
- 教員との連携や役割分担の整備が必要。
- 教員側の児童指導力維持・育成の観点からも、ボランティアへの任せきりを防ぎ、適切な協力関係を築くべきとの意見もあり。

現場の状況

- フルタイム以外の非常勤・短時間勤務教員が多く、配膳や見守りなど現場は多忙を極めている。ボランティア (民生委員等) の存在は、教員・児童双方の精神的・物理的な支えになっている。

③ 多目的室 (支援・個別指導) の支援体制

2~6 年生約 10 名に対し介助員 5 名 (フルタイム勤務は 2 名)。水泳・校外学習・個別学習等の対応で人手が著しく不足。

多目的室の児童は自力で教室に戻る等が難しく、個別の声かけや心のケアが必要。複数スタッフで連携を取りながら対応中。

④ ボランティアと学校の連携・コミュニケーション強化、情報共有の仕組みづくり

- 事前の短時間打ち合わせ (1 分・30 秒でも可) や一言メモの活用、日々の小さな振り返りを実施し、共通認識を持ってサポートできる環境を作る。
- 教員側からの明確な指示出し (「やってほしいこと」「手を出さなくてよいこと」の明確化) が、児童の成長とボランティアの動きやすさにつながるのでは。

(2) 防災教育について

① 防災教育

栄養士も参画し、「被災時の食」や「地域防災地図（防災倉庫・避難所・避難区域の落とし込み）」等を活用した授業計画を策定中（夏休み中に教材化）。

② 津波避難対策・避難所運営

過去の実績と課題

- 過去の津波警報発令時、約 300 名の地域住民が避難。空き教室や特別教室を開放して対応した。
- 授業中の避難行動（1 階児童の 2 階移動など）における二次被害（将棋倒し等）の防止策が必要。

避難所開設ルールと地域連携

- 市の指定避難所として、初動対応（教員による安全確保・避難誘導）から市職員・地域主体での開設運営へスムーズに引き継ぐルールづくりが必要。
- 保護者への啓発や学校だより等を通じた事前の情報発信・意識付けを強化していく。

(3) コミュニティスクールの今後について

藤沢市が進める三者連携区域構想に基づき、鵜沼中・鵜沼小・鵜洋小の 3 校で勉強会を実施中。

4 その他

- ・ 鵜洋小 80 周年記念イベント:11 月 21 日(土)~22 日(日)（三連休のうちの 2 日）の開催を仮決定
- ・ 側溝清掃:9 月 26 日(土) に実施決定（7/15 に PTA 等と事前打ち合わせ）

次回開催日程 2026 年 9 月 29 日（火）10 時～

場 所 鵜洋小学校会議室